

資料7 平成23年度環境年表

年月日	事 項
23. 6. 9	環境月間中(5月30日～6月30日)に、県や各市町村、企業等で多くの環境関連行事が実施された。6月9日「環境の日」記念行事として、「環境フォーラムinやまなし」を開催し、記念講演や山梨県環境保全功労者表彰を行った。
23. 6. 7	地球温暖化防止と循環型社会の構築に向けた環境に配慮した活動を推進し、次世代によりよい環境を引き継ぐことを目指し、県内38事業者1組合と山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会、消費者団体、商工団体、県及び関係市町村の間で締結されていた「山梨県マイバッグ等の持参促進とレジ袋の削減の推進に関する協定」の7月からの更新、及び2事業者との新規の協定締結が行われた。
23. 6～9	東日本大震災の影響による電力供給不足に対処するため国が決定した、「夏期の電力需給対策」により東京電力管内の需要家に対する使用最大電力15%削減の数値目標が提示されたことを受け、県としても、「やまなし節電県民運動」を展開し、節電に関する情報提供を行うとともに、様々な手法で家庭や事業所において節電に取り組むよう協力を要請した。また、7月からは「ピーク時集中キャンペーン」を展開し、VF甲府の選手を起用したテレビ・ラジオCM、新聞広告などにより周知を図った。
23. 7. 27	夏期の節電対策のポイントや具体的な取組方法についての講演、及び国内クレジット制度の活用方法や事例の紹介により、節電・省エネ対策の推進を図るため、県内事業所を対象として、節電・省エネ対策セミナーを開催した。
23. 8. 8	故郷の山や森林を見つめ直し、その恩恵に改めて感謝する契機とするために平成9年に制定した、8月8日のやまなし「山の日」の記念事業「森の教室」において、LEAF(Learning About Forest:リーフ(葉っぱ))プログラムとして、森林散策や自然観察、木工作等を実施した。
23. 10. 7	自治体の地球温暖化対策をオンラインで公表するイクレイのプロジェクト「carbonn 都市気候レジストリ」への報告を約束するメキシコシティ協定に署名した。メキシコシティ協定では、世界の自治体が協力して気候変動対策に取り組むことを宣言している。
23. 10. 11	「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」の成立を受け、県有地への民間メガソーラー発電所設置の企画提案について公募を開始した。
23. 11. 8	日々の暮らしの中で実践できるエコ活動や家庭における冬の節電アイデアについての講演、及び緑のカーテン及び環境家計簿に関する研究発表を通じて、やまなしエコライフ県民運動についての理解を深めてもらうとともに、さらなるエコ活動の推進を図るため、県民を対象とした「やまなしエコライフ県民運動セミナー」を開催した。
23. 11. 11	冬期の節電対策のポイントや具体的な取組方法についての講演、及び節電・省エネ取組事業者の事例発表、国内クレジット制度の活用方法や事例の紹介により、節電・省エネ対策の推進を図るため、県内事業所を対象として、節電・省エネ対策セミナーを開催した。
23. 11. 25	民間メガソーラー発電所の設置事業者に三井物産連合を決定した。
24. 1. 24	県全域を対象とした「富士の国やまなし次世代エネルギーパーク」計画が資源エネルギー庁から認定された。
24. 1. 30	県民、事業者、行政等の多様な主体が連携し、全県的かつ継続的に景観形成の取り組みを推進するため、美しい県土づくり推進会議を設置するとともに、広く県民に向けた第1回「美しい県土づくり推進大会」を開催し、推進宣言、基調講演、事例報告、ポスターセッション等を行った。